

I 平成30年度事業報告書

(平成30年4月1日から平成31年3月31日まで)

当協会は、昭和23年8月に財団法人埼玉県消防協会として設立され、「消防思想を普及徹底し、消防諸施設の改善と消防活動の強化を図り、もって社会の災害を防止し、人類共通の福祉の増進に寄与すること。」を目的に活動している。

公益法人制度改革関連法の規定に基づき、平成24年4月1日付けをもって、公益財団法人埼玉県消防協会へ移行した。この移行と共に公益性をより高め、県民の更なる安心・安全の確保を図り、福祉の増進に寄与することが求められている。

当協会の事業の内容は、地域の消防・防災活動の中核的な担い手である消防団員及び消防職員への支援を通じ、地域の災害の防止に貢献するための事業を行っているが、その概要は次のとおりである。

1 主な事業の概要

(1) 第30回埼玉県消防操法大会

平成30年8月4日(土)埼玉県消防学校を会場とし、県と共催により実施した。

ポンプ車の部に14隊、小型ポンプの部に2隊が出場し、参加消防団の技術の向上と士気の高揚が図られ、消防団活動の充実発展に寄与した。

なお、ポンプ車の部では日高市消防団が、小型ポンプの部では秩父市消防団が優勝の榮譽に輝いた。

ポンプ車の部で優勝した日高市消防団は、平成30年10月19日(金)に富山県で開催された第26回全国消防操法大会に出場し、優秀な成績(優良賞)を収めた。

(2) 埼玉県自治体消防70周年記念式典(第70回定例表彰式)

ア 表彰式概要

平成30年11月9日(金)「埼玉会館」を会場として、消防団、消防団員及び企業など延べ44団体、2,539人を表彰した。

イ 死亡特例表彰

在職中に死亡した消防団員7人に死亡特例表彰を授与した。

(3) 慰霊祭事業

ア 慰霊祭

平成30年11月19日(月)埼玉県消防学校の屋内訓練場を会場として、消防殉職・殉難者84柱の御霊に対する慰霊祭を挙行、遺族及び消防関係者304人が参列した。

イ 死亡弔慰金の交付

在職中に死亡した消防団員8人、消防職員3人の計11人の遺族に対して弔慰金を交付した。

(4) 消防団員研修事業

ア 住宅用火災警報器設置推進指導員研修

埼玉県防災学習センターにおいて、県内における住宅用火災警報器の設置率向上を目的とし、熊谷市消防本部の「前原 裕氏」を講師に迎え、住宅用火災警報器設置推進指導員研修を2回実施、消防団員等202人(女性33人)が受講した。

実施日	回数	時間	受講者数(女性数)
平成30年 9月29日(土)	第1回	10時00分 ～11時30分	99人(16人)
	第2回	13時00分 ～14時30分	103人(17人)
合計			202人(33人)

イ 女性消防団員研修

埼玉県防災学習センターにおいて、女性消防団員を対象として災害時の被害軽減を目的とした「DIG訓練(災害図上訓練)」を実施した。

講師は、川越市消防団員で防災士として活躍中の「田中緑氏」及び同じく防災士であり消防団員の「大沼早苗氏」、「二崎博美氏」、「高橋さとみ氏」、「対馬代志子氏」、「有山志のぶ氏」に依頼した。

実施日	受講者数
平成30年12月8日(土)	88人

ウ 消防団長等幹部研修会

平成30年11月22日(木)埼玉県危機管理防災センターにおいて、消防団長等幹部研修会を開催した。

同研修会には、消防団長等89人が参加した。

講師には、熊谷地方気象台の中村佳之気象情報官を招き、「気象と防災について」の講演が行われ、大変好評であった。

エ 消防団員基礎教育研修

埼玉県消防学校と連携し、現地研修修了者（概ね入団3年以内）の新入消防団員を対象とした基礎教育研修を5回実施、合計485人（女性52人）が受講した。

回数	実施日	受講者数（女性数）
第1回	平成30年12月15日（土）	97人（16人）
第2回	平成31年1月12日（土）	64人（9人）
第3回	平成31年1月19日（土）	128人（16人）
第4回	平成31年3月2日（土）	123人（6人）
第5回	平成31年3月24日（日）	73人（5人）
合 計		485人（52人）

オ 消防団員幹部研修（初級幹部科・指揮幹部科）

埼玉県消防学校と連携し、消防団幹部を対象とした初級幹部科・指揮幹部科（現場指揮課程・分団指揮課程）の研修を実施、合計232人（女性1人）が受講した。

種 別		実施日	受講者数 （女性数）
初級幹部科		平成31年2月8日（金） 平成31年2月9日（土）	91人 （1人）
指揮 幹部科	分 団 指揮課程	平成31年2月23日（土）	84人 （0人）
	現 場 指揮課程	平成31年3月15日（金） 平成31年3月16日（土）	57人 （0人）
合 計			232人 （1人）

カ 日本消防協会研修

「消防団幹部特別研修」に男性団員 1 人(蓮田市)、「消防団幹部候補中央特別研修」に男性団員 3 人(1・2・3ブロック各 1 人)、女性団員 2 人(2・3ブロック各 1 人)を推薦し、平成 31 年 1 月から 2 月にかけて全員が受講した。

(5) 普及啓発・活性化事業

ア 全国女性消防団員活性化事業

第 24 回全国女性消防団員活性化「滋賀大会」が平成 30 年 11 月 9 日(金)に開催され、本県からは、11 消防団の女性消防団員等関係者 50 人が参加した。

イ 防火ポスターの募集及び配布

全日本消防人共済会の依頼を受け、県内小中学校あてにポスター等の募集を行うとともに、防火ポスターの配布を行った。

今年度は、応募のあった 9 点から防火ポスター 2 点を推薦した。

なお、全日本消防人共済会から提供のあった防火ポスター 1,088 枚を県内消防団に配布した。

ウ 埼玉県防災講演会

埼玉県防災学習センターとの共催により、県内 2 会場において災害リスク評価研究所代表の「松島康生氏」を講師に迎え、県民、消防職団員等を対象に防災講演会を実施した。

回数	開催場所	実施日	受講者数
第 1 回	三郷市文化会館	平成 30 年 6 月 30 日(土)	205 人
第 2 回	飯能市市民会館	平成 30 年 10 月 13 日(土)	197 人
合 計			402 人

(6) 福利厚生事業

ア 消防団員等福祉共済制度

公益財団法人日本消防協会による、消防職団員を対象とした消防団員等福祉共済の加入給付手続を行っている。

平成30年度は、遺族援護金10件、障害見舞金1件、生活援護金0件、入院見舞金45件、合計56件で総額11,912,500円を給付した。

イ 育英支援金の給付

育英支援規程による、殉職消防職団員の遺児に対する育英支援金の給付を行っている。

平成30年度は、該当なしであった。

2 役職員に関する事項（平成31年3月31日現在）

(1) 役員数

役 職 名	常 勤	非 常 勤	備 考
会 長	0	1名	代表理事
副 会 長	0	4名	理 事
理 事	1名	17名	専務理事1名、常務理事1名
監 事	0	4名	団長職2名、会計管理者2名
評 議 員	0	16名	団長職
計	1名	42名	

(注) 同一親族等特別な関係にある者の理事等の役員に占める割合0%

(2) 事務局職員数

・常務理事兼事務局長	(常 勤)	1名
・次 長	(常 勤)	1名
・主 査	(常 勤)	1名
・書 記	(非常勤)	1名

(3) 組 織

ア 役 員

会 長(1) 本間雄一郎(団長)

副会長(4) 倉田健次(団長) 大籾 徹(団長) 森田耕一(団長) 鈴木克典(団長)

理 事(18) 新井 義一(専務理事) 小竹 清司(常務理事)

槍田 義之(県危機管理防災部長)

団 長(10)

市 長 会(2)

町 村 会(2)

消防長会(1)

監 事(4) 団 長(2)

市会計管理者(2)

評議員(16) 団 長(16)

イ 事務局

常務理事兼事務局長(1) 小竹 清司

次 長 (1) 岡野 和男

主 査 (1) 鷹野 淳子

書 記 (1) 舞原 美智子

3 その他

付属明細書

「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。